

1 中期学校経営方針



(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>であい ふれあい ひびきあい</p>	<p>言語能力 問題発見・解決能力 自分づくりに関する力</p>

(2) 中期取組目標

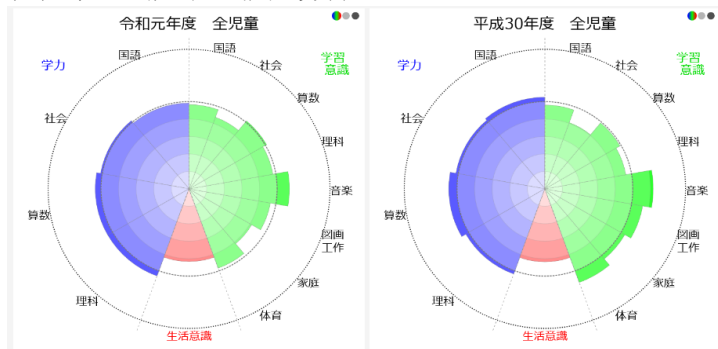
中期取組目標
<p>○地域・家庭・学校との連携を深め、温かい雰囲気のなかで子どもたちが生き生きと成長することができる学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の思いを表現できる授業をめざし、基礎基本の定着を図り、学力向上に取り組みます。 多くの人々とのかかわりや体験を通して学び、主体的な活動を目指します。 自他とのかかわりのなかで、自他のよさに気づき、互いに認め合う心を育てます。 地域・家庭と連携を図り、協働教育を常に意識した信頼される学校づくりを目指します。 体力向上を目指し、身体と心の健康について全校で取り組みます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>生きてはたらく知 (学習指導)</p>	<p>①学年の児童の実態・課題を把握し、ねらいを明確にし、主体的・対話的・深い学びをめざす授業に取り組む。②スマイルタイムを充実させ、基礎基本の定着に取り組む。③教育課程全体で育成をめざす資質・能力を明確にした教育課程編制を行う。</p>
<p>担当 学力向上委員会</p>	

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析



(1) 学力の概要と要因の分析

横浜市全体と比べた結果を見ると、社会、算数、理科は、若干ではあるが市の平均を超えている。朝学習を続けてきたことや、授業に前向きに取り組んできたことで成果が出ていると思われる。生活意識は、市の平均を下回っており、学力がついてきていることと、生活意識の向上が繋がっていない様子が見える。

(2) 教科学習の様子

- 国語科：学年によって「書く」「読む」「話す・聞く」など得意とする領域が違っている。それぞれの学年での傾向を把握し、領域に応じた対応策を考えていく必要がある。
- 社会科：「知識・理解」は、市平均を若干上回る学年が多かった。「技能」は市の平均を若干下回る学年があり、資料を読み取る作業をクラスで行うなど資料に触れる学習を考えていく必要がある。
- 算数科：「知識・理解」が市平均を上回る学年が多かった。「数学的な考え方」「技能」でも市平均を上回り、力をつけてきている学年も見られ、授業等で得た知識を使って繰り返し問題に取り組んでいくことが必要である。
- 理科：「知識・理解」は、全学年で市平均を上回った。引き続き、観察、実験等「技能」面を高めていくとよいと思われる。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習意識・生活意識調査も含めて）

- 学年により得意な教科、領域が見られるため、各学年でこの結果をふまえて対策をたてる必要がある。得意な分野、不得意な分野を各学年で現状分析し、学年に適した指導方法を今後も考えていく必要がある。
- 生活調査は、市の平均を下回る傾向が続いている。自己意識が市の平均を下回っているため、自尊感情がもてるような活動を行い、前向きに生活していけるように考えていく必要があると思われる。

3 令和2年度 学年・教科等としての具体的取組

1年生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日々の音読や朝の読書タイム、朝学習の時間の計算、平仮名、漢字の練習を継続し、基礎的な学習の力をつけるようにする。 ○ 相手の話をしっかり聞くことを大切にし、分からないことや知りたいことを尋ねたり、自分の気持ちを相手にわかるように話したりするように指導する。 ○ 自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつように指導する。
2年生	<p>○国語：言語の知識理解技能は、8割方できている。しかし、指定された、指示された問いに沿って、考察・解答する注意力が低い。内容を正確にイメージして読む力が弱い。☆「言葉を引用して短文にまとめる。」「最後までしっかり読み、前後の関係を理解したり、内容をまとめたりする。」「語彙を増やし、指示されたように正しく使い、表現する。」という取り組みをしていきたい。</p> <p>○算数：計算も8割方できているが、どうしてそうなのか理解が十分ではない。文章が十分に読み取れていない。文章でしっかり表現できていない。初めての問題に対して、解決処理する力が弱い。問題の解き方や考え方が広がらない。☆「なんでそうなのかの考察を大切にする。」「言語活動、説明を必ず取り入れた学習を展開する。」「初め出会った問題でも、既習の方法を応用活用して、解いていく力を身に付けさせる学習を展開していく。」取り組みを行っていきたい。</p>
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の定着が見られる学年であるので、今年度も当該学年の学習内容の基礎基本をしっかりとした理解、定着をはかっていく。さらに、それを活用して課題を解決する力を伸ばしていく。 ○学習した内容復習として朝学習を有効に活用し、算数の計算・測定技能の向上、漢字の読み書きの定着、読書による文章理解を深めるなどの基礎基本の定着をはかっていく。 ○各教科では、子どもたちから、自分事として学習課題を引き出すことを重視し、課題に対してグループやペアでお互いの考えを出し合うように進める。それにより、コミュニケーション力の向上といろいろな考えに触れての考える力の向上及び学習の活用する力の向上をはかる。
4年生	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の音読や朝の読書タイムの時間の確保・国語の並行読書の充実など、本に親しみ読書経験を増やして語彙や表現を豊かにする。 ○スマイルタイムや少人数指導、TTなどの機会を生かし、演習問題やミニテストなどの時間を設け、国語や算数の学習内容の基礎・基本の定着を図るとともに、分かりやすい授業づくりに努める。 ○各教科において、一人で考える時間やグループでの話し合いの時間を設け、自分の考えを表現したり相手の考えをしっかりと聞いたりする活動を行う。 ○体験的な学習を通して、教室で学んだ学習を現地で実際に体験や確認をし、実体験を大切に学習を行う。
5年生	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の音読や朝の読書の時間の確保・国語の並行読書の充実など、様々な場面で本に親しみ読書経験を増やして語彙や表現を豊かにする。 ○各教科において、一人で考える時間やグループでの話し合いの時間を設け、自分の考えを表現したり相手の考えをしっかりと聞いたりする活動を行う。 ○校外学習や体験学習を通して、教室で学んだ学習を現地で実際に体験や確認をし、実体験を大切に学習を行う。
6年生	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く、目的や意図に応じて事実を感想や意見などと区別して書く、書いたものを発表し合い表現の仕方に着目してよさを伝え合うことを継続して指導し、書く力、表現する力を育てるようにする。 ○漢字、敬語の指導を反復して行うようにし、知識理解の定着を図る。 ○資料の内容を的確に押さえながら要旨をまとめることを継続して指導し、読む力、自分の考えをまとめる力を育てるようにする。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み取るだけで終わらず、資料を活用して課題を見出したり、なぜその取り組みをしているのか理由について考えたりすることで、思考力・判断力・表現力等を育むようにする。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を授業で取り扱いながら学習を進めることで、基礎基本の定着を図る。 ○図形の作図、数と計算に課題がある。基礎基本の問題、活用問題を丁寧に取り扱い、理解が深まるようにする。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験の見通しをもったり、実験方法を考えたりすることができるよう、既習事項に触れながら子どもが自ら考えることができる授業を展開する。 ○基礎基本は概ね身につけている。その知識を活用してどのようなことが考えられるかを問い、思考力・判断力・表現力等を育むようにする。
個別 支援級	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を位置付ける。 ○ 子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。 ○ 子どもに応じた分かりやすい情報発信をするなど、言語環境の整備を行う。